

【平成 29 年 9 月】

<医療と介護の連携> 医師とケアマネジャーと一緒に懇談会を開催しました

9月7日（木曜日）午後6時30分から大崎市図書館にて、大崎市医師会と大崎市で「医師・ケアマネジャー懇談会～お医者さん・ケアマネジャーと一緒に連携を考えよう～」を開催しました。

この懇談会は、医療と介護の要の両専門職が同じテーブルで話し合いながら連携しやすい「顔の見える関係」をつくるために開催し、今回は大崎市医師会が取り組んでいる「大崎地区医介連ネットワーク『MCS メディカルケアステーション』」を活用した多職種連携」について、医師、ケアマネジャーそれぞれの立場で報告し、その後事例検討を通じそれぞれの職種の考え方を理解しながら支援方法を考えました。

今後もさまざまな職種をつなぐ場を作りながら、医療と介護の連携を進めていきます。

<認知症にやさしい地域づくり> RUN 伴（ランとも）2017 大崎市を走り抜けました

9月9日（土曜日）RUN 伴（ランとも）のイベントとして、大崎市の介護事業所や市役所職員の有志メンバーで、栗原市から大崎市までを走りました。このイベントは、認知症の人や家族、支援者、市民が少しずつリレーをしながら一つのタスキをつなぎ、7月に北海道宗谷岬をスタートし、日本全国を縦断しながら11月の台湾のゴールを目指すもので、大崎市も平成26年度から参加しています。

- ◇私たちが暮らす地域の中には支えを必要としている認知症の人、その家族がたくさんいることを、同じ地域に暮らす人たちに知ってもらうこと
- ◇地域に暮らしている認知症の人やご家族にも、暮らしている地域の中にはたくさん仲間たちがいて、力を貸してくれるということを知ってもらうこと
- ◇認知症になっても安心して暮らしていけるまちとは一体どんなまちなのかを、すこしでも多くの人たちに考えてもらうことを目的としています。

来年度以降、興味のある方は一緒に走りませんか？また、オレンジ色のTシャツを着て走るメンバーを見かけたらぜひご声援をよろしくお願いいたします。



（問い合わせ）大崎市民生部高齢介護課 電話 0229 - 23 - 6085

<地域包括ケアの推進> 市内の医療と介護の多職種が一堂に会し自立支援を学びました

9月25日（月曜日）芙蓉閣（大崎市古川）を会場に、宮城県、大崎市による「宮城県介護予防に関する事業評価・市町村支援事業 大崎市地域包括ケアシステム推進多職種連携研修会」を開催しました。午後1時30分からの第1部、午後6時30分からの第2部に、市内外の医師、歯科医師、看護師、介護支援専門員など30の専門職団体から約200名の参加がありました。

今回の研修会は、全国的にこの事業を進めている指導者であり、先駆けて実施している大分県より株式会社ライフリー代表取締役（作業療法士）佐藤孝臣氏を講師にお招きし、具体的に自立支援につながった事例をふまえた研修を行いました。

（問い合わせ）大崎市民生部高齢介護課 電話 0229 - 23 - 6085



<医療と介護の連携> 鳴子温泉地域の看護師の集いが開催されました

9月28日（木曜日）午後3時から大崎市民病院鳴子分院にて、「鳴子温泉地域看護職連携集会」が開催されました。この会議は7月に開催された大崎地区看護職ネットワーク構築運営会議の中で、地域で働く看護師同士の「顔の見える関係」をつくっていかうと決まり、そのスタートとして開催されたものです。当日は、病院や介護事業所で働く看護師が集まり、それぞれの役割を紹介し、今後どのように連携していくか等の話し合いが行われました。

その他の主な取り組み

<医療と介護の連携>

9月15日（金曜日）名取市の視察受入（大崎市と大崎市在宅医療・介護連携支援センターの取り組みについて）

<地域を支える仕組みづくり>

9月20日（水曜日）午後7時から鳴子保健・医療・福祉総合センターで開催されたボランティア講座の中で、大崎市民生部社会福祉課地域包括ケア推進室の職員が「地域づくりと健康づくり」についての講話を行いました。参加者は、既に行っているボランティア活動が地域づくりにつながっており、自分自身の健康づくりにもなっていることを再確認しました。

<地域ケア会議の推進>

9月21日（木曜日）平成29年度第4回大崎市自立支援型地域ケア会議を開催